

戦死対応 全国動員

米軍の戦争に参戦した自衛隊で多数の戦死者が出ることを想定し、遺体の取り扱い専門家である葬祭業者の全国団体と陸上自衛隊が協力を結ぶ。地方レベルにまでその態勢づくりを拡大させていることが31日、本紙が情報公開請求で入手した防衛省の内部文書等から判明した。政府が「台湾有事」を念頭に軍拡を進める中、想定される多数の戦死者に対応するため、地方や民間を巻き込んだ全国的な動員体制が進められていることがわかった。(矢野昌弘)

「戦争国家」の実相

本紙が入手したのは、2025年1月に陸上幕僚監部厚生課が作成した内部文書と協定書です。内部文書は、昨年2月に行われた全日本葬祭業協同組合連合会(全葬連)と陸上幕僚監部(陸衛)との協定締結に向けて作成されたものです。協定の目的は各種災害並びに武力攻撃事態等及び存立危機事態が発生した場合に備え、「(以下)明記。存立危機事態」は



日本共同訓練「アイン・フィスト」の陸上戦闘訓練に参加する陸上自衛隊員。首の白い巾は「戦死」などを示しています。3月6日、沖縄県金武町

陸自の葬祭協定 地方で具体化

全葬連が陸自に協力する内容は、「納体袋、棺、保冷資材等の確保」や「遺体の修復における遺族対応や「エンバリーング(遺体衛生保全)」に関する専門業者による技術的講義まで盛り込まれています。こうした「有事」態勢の構築は、陸自の中央組織だけではありません。内部文書では陸自トップの陸上幕僚長への「成果報告」として「地方協定の促進、訓練等での連携等」と明記し、地方の方面隊でも締結を促していくとしています。

実際に、昨年6月には陸自東北方面隊が全葬連東北ブロック(幹事・宮城県葬祭業協同組合)との間で協定を締結していました。陸幕の協定と同様に遺体修復やエンバリーングといった生々しい協定内容が盛り込まれています。

東北地方の葬祭業者は11年の東日本大震災で、火葬能力を超える多数の犠牲者が出る中で遺体の取り扱いに従事しました。宮城県葬

遺体の「修復・衛生保全」 民間巻き込む

葬祭協同組合は自力で棺1万基を用意し、自社の葬儀会館の営業を止めて臨時の遺体安置所として提供しました。「仮埋葬(土葬)」や、仮埋葬した遺体の改葬に対応した経験があります。

岸田文雄内閣が22年に閣議決定した「安保3文書」は、「現在の自衛隊の継戦能力は、必ずしも十分ではない」として、「戦傷医療における死亡の多くは爆傷、銃創等による失血死」

「人的損耗」を重視し、「継戦能力のために、有事において危険を顧みずに任務を遂行する隊員の生命・身体を救う組織に委ねる」としています。

高市早苗首相はこの「安保3文書」を年内に改定し、「年単位」での継戦能力を高めようとしています。こうした中、「安保3文書」が想定する南西諸島の戦闘が、自衛隊内でも対応しきれないほどの戦死者を出し、民間でも動員する大規模な戦争となる危険があることを、この協定は示しています。 ↓関連⑥面

戦争の加害者にも被害者にもならぬ



基地を囲んでスタンディングオベーションする参加者。31日、京都府舞鶴市

トマホーク反対 2800人 京都・舞鶴

海上自衛隊舞鶴基地(京都府舞鶴市)への長射程ミサイル「トマホーク」配備や大型弾薬庫の新設に抗議しようとした約2800人の参加者が手にした。海上自衛隊舞鶴基地の周囲1.4キロを取り囲みました。日本共産党の堀川あきこ前衆議院議員、井上哲士前参院議員が参加しました。

トマホーク配備反対集会が市内2会場で催され、実行委員会共同代表の吉本晴樹弁護士が主催者あいさつし、インテリゲンチヤマンチェン(人間の鎖)でつながる「5・31 Peace Action in 舞鶴」が31日、開催されました。全国から集まった約2800人の参加者が手にした。海上自衛隊舞鶴基地の周囲1.4キロを取り囲みました。日本共産党の堀川あきこ前衆議院議員、井上哲士前参院議員が参加しました。

潮流

「戦争に、近づいてはならない」。遺作となった著書は、この国の未来を担う若い世代に向けたメッセージでした。「Z世代は戦後初めて銃をとる世代になるかもしれない」。昨年末、86歳で亡くなった丹羽幸一郎さんの最後の訴えです。民間人として中国大使を務め、国の方針を提言してきた丹羽さん。戦争が絶えない世界を憂え、「平和は砂漠の嵐気候のようにほんやりと姿を現してはすぐに消えてしまいます」と警鐘を鳴らしてきました。他国の戦争に日本が巻き込まれないためには憲法の平和精神に立ち戻って9条を順守し、国際問題の解決に武力行使しないことを徹底して実行する。すなわち現行憲法を守ることに尽きる。若者たちが憲法について考え合う集まりが都内で開かれました。憲法が保障する自由と権利を守るためにどう行動するか、戦争反対の思いを共有したい。意見や感想を出し合う高校生たち。普段から憲法や平和を意識し、感じるものが大切かと思いつく。あらゆる差別をなくしたいと参加した大学生や、社会は変えられるという気持ちを持たせたいと話す20代の姿もありました。丹羽さんは、暗黒にみえる世界にもほのかな希望の光があるとして、光源は若いみなさんだと期待を込めていました。10回目となった若者憲法集会はその光を放つ場に。さて本日から1面が新しくなり、本欄も体裁が変わりました。引き続き、「愛顧のほどよろしくお願い致します。」



憲法生かせ 若者デモ

高市早苗政権による「戦」改憲反対「平和憲法生かせ」デモ。31日、東京・銀座で行われ、北海道から沖縄まで全流が激まっていた約2500人

「憲法を真ん中に据えて、誰もが生きやすい社会にしよう」と訴えました。守れ「日本を戦争国家にするな」とコールしました。主催は若者憲法集会実行委員会。

沿道から大きな注目を集め、親指を立てて拍手を送る人や、スマホで撮影する人の姿も。デモの隊列は行進が進むほど大きくなり、デモでは青年がスピーチ。「日本は憲法9条という戦争を止めるブレーキを持っている。平和憲法の価値を世界に発信することこそ戦争への最大の抑止だ」「人が殺し合う戦争は絶対にしてはいけない。軍事ではなく社会保障を大事にしてほしい」と訴えました。

福島県郡山市から参加した添田咲さん(25)は、高市早苗の発足以降、ジェンダー・バックラッシュ(逆)

唯一の解決策 言及せず

「唯一の解決策」言及せず 辺野古新基地建設で日米防衛相

小泉進次郎防衛相とペングセス米国防長官は30日、シンガポールで会談しました。防衛省が公表した概要によると、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設を巡り、両氏は「沖縄統合計画に従った在日米軍再編の着実な実施が極めて重要」と述べた。これまでに防衛相会談

トマホーク反対 2800人 京都・舞鶴

海上自衛隊舞鶴基地(京都府舞鶴市)への長射程ミサイル「トマホーク」配備や大型弾薬庫の新設に抗議しようとした約2800人の参加者が手にした。海上自衛隊舞鶴基地の周囲1.4キロを取り囲みました。日本共産党の堀川あきこ前衆議院議員、井上哲士前参院議員が参加しました。

トマホーク配備反対集会が市内2会場で催され、実行委員会共同代表の吉本晴樹弁護士が主催者あいさつし、インテリゲンチヤマンチェン(人間の鎖)でつながる「5・31 Peace Action in 舞鶴」が31日、開催されました。全国から集まった約2800人の参加者が手にした。海上自衛隊舞鶴基地の周囲1.4キロを取り囲みました。日本共産党の堀川あきこ前衆議院議員、井上哲士前参院議員が参加しました。

唯一の解決策 言及せず

「唯一の解決策」言及せず 辺野古新基地建設で日米防衛相

小泉進次郎防衛相とペングセス米国防長官は30日、シンガポールで会談しました。防衛省が公表した概要によると、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設を巡り、両氏は「沖縄統合計画に従った在日米軍再編の着実な実施が極めて重要」と述べた。これまでに防衛相会談

トマホーク反対 2800人 京都・舞鶴

海上自衛隊舞鶴基地(京都府舞鶴市)への長射程ミサイル「トマホーク」配備や大型弾薬庫の新設に抗議しようとした約2800人の参加者が手にした。海上自衛隊舞鶴基地の周囲1.4キロを取り囲みました。日本共産党の堀川あきこ前衆議院議員、井上哲士前参院議員が参加しました。

トマホーク配備反対集会が市内2会場で催され、実行委員会共同代表の吉本晴樹弁護士が主催者あいさつし、インテリゲンチヤマンチェン(人間の鎖)でつながる「5・31 Peace Action in 舞鶴」が31日、開催されました。全国から集まった約2800人の参加者が手にした。海上自衛隊舞鶴基地の周囲1.4キロを取り囲みました。日本共産党の堀川あきこ前衆議院議員、井上哲士前参院議員が参加しました。